

令和7年度

「静岡県観光基本計画」の実施状況

報告書

令和8年6月

静岡県スポーツ・文化観光部

「静岡県観光基本計画」の実施状況について

スポーツ・文化観光部

静岡県観光振興条例第11条第4項の規定に基づき、令和8年3月に策定した「静岡県観光基本計画」の令和7年度の実施状況を、以下のとおり報告します。

1 2つの基本方針に沿った事業の実施状況

「静岡県観光基本計画」における基本理念「バリューアップ！！しずおか旅」の実現に向けて、「高付加価値旅行の推進」、「観光産業の基盤強化」の2つの基本方針に沿った事業を実施した。

基本方針1 高付加価値旅行の推進

<地域資源を活用した質の高い観光コンテンツの創出>

○ガストロノミーツーリズムの推進

本県の多彩で高品質な食材と、自然や景観、歴史、文化などの観光資源を融合し、来訪者に感動体験を提供するガストロノミーツーリズムを推進した。

【事業実績】

| 区分 | 内容 |
|---------------------------|--|
| ガストロノミー ツーリズム フォーラム | 料理人、生産者、旅行事業者等を構成員としたネットワークを運営 (会員数 428 人 令和8年3月末時点) ・勉強会「美味らららサロン」の開催 (令和7年12月11日) ・取組成果報告会の開催 (令和8年2月17日 参加者: 71人) ・静岡の食と食文化に精通したコーディネーターの設置 (コンテンツ造成の取組支援件数: 8件) |
| 情報発信 | ・県内ガストロノミーコンテンツを美味らららサイトへ掲載 ・県内レストランや農業体験施設をまわるスタンプラリーの開催 (令和7年9月1日～令和8年1月31日) 参加者: 895人、応募者: 368人 ・「和食展しずおか」の地域情報ブースへの出展 (万博静岡県ブースとコラボ) |
| コンテンツの 造成 | ・フォーラム会員が連携した地域ならではの食や食文化を活用した新たな観光コンテンツを創出する取組を支援 (6件) |
| 高付加価値 モデル商品 の造成 | ・本県の多彩で高品質な食材と、自然や景観・歴史・文化などの観光資源を融合し、富裕層に感動体験を提供できる高付加価値の旅行商品を造成・販売 (5件) |

○温泉・サウナ資源を活用したツーリズムの推進

本県の主要な観光資源である「温泉」や、近年、観光コンテンツとして注目を集めている「サウナ」と「ウェルネス（健康）」を掛け合わせた誘客を促進する取組を実施した。

【事業実績】

| 区 分 | 内 容 |
|------------|---|
| サウナを活用した誘客 | モニターツアーの実施＜愛好家層＞ ・内 容：令和6年度に造成したモデルコースの磨き上げ及び商品化に向けた課題抽出 ・実施回数：2回（島田・川根コース、浜松コース） ・招 聘 者：首都圏等のサウナ愛好家への発信チャンネルを有する者 旅行会社等におけるツアー企画担当者 ・実施時期：島田・川根 令和7年10月19日（日）～20日（月） 浜松 令和7年12月7日（日）～8日（月） |
| | 旅ナカにおけるサウナ+1による周遊促進＜ライト層＞ ・内 容：県内サウナ・温泉施設利用者に対し、親和性のある他サービスの提案による施設からの周遊促進を試行 ・企 画：サウナ+朝活コンテンツ 藤 枝：朝ラーメン、ティーテラス 御前崎：サーフィン・SUP |
| タイからの誘客 | 観光・スポーツ省との覚書を契機とした温泉を核にしたインバウンド誘客 ・内 容：インフルエンサー等の招聘による情報発信 等 ・招 聘 者：イチタン社 タン社長ほか ・実施時期：令和7年11月17日（月）～11月20日（木） ・訪 問 先：熱川温泉街、伊豆わさビジターセンター、伊豆長岡温泉、修善寺温泉、沼津港ほか |

○グリーン・ツーリズムの推進

農山漁村地域における交流人口の拡大や地域経済の活性化を図るため、グリーン・ツーリズムや農泊地域づくり、静岡県農林漁家民宿の運営等に係る研修会の開催や専門家派遣を行った。

【事業実績】

| 区 分 | 内 容 | 回 数 |
|-----------------|--------------------------------|-----|
| 研 修 会 | 農泊先進地の視察、グリーン・ツーリズムインストラクター育成等 | 13回 |
| 農泊地域づくりアドバイザー派遣 | 多様な体験の提供に向けたリスクマネジメントのポイント | 1回 |

【農林漁家民宿の開業（令和7年度開業5軒、令和8年3月末現在66軒）】

| 名 称 | 所在地 | 開業日 | 定員 |
|---------|-------|-----------|----|
| 雨の森 | 藤枝市 | 令和7年8月28日 | 6人 |
| コトトキス | 静岡市葵区 | 令和7年6月8日 | 6人 |
| 農作日和たお西 | 川根本町 | 令和7年9月25日 | 6人 |
| にんや | 島田市 | 令和8年1月1日 | 6人 |
| 山笑う | 静岡市葵区 | 令和8年3月1日 | 5人 |

○ジオツーリズムの推進

専門職員による学術活動や地質遺産の価値を伝えるジオガイドの養成及び活用等に対して支援した。また、ユネスコ世界ジオパークの指摘事項の改善に係る取組を支援した結果、令和7年9月に開催されたユネスコ世界ジオパーク・カウンシルによる審議において、伊豆半島ユネスコ世界ジオパークの再認定が決定した。

【美しい伊豆創造センターの活動実績】

| 区 分 | 内 容 |
|---------------------------|--|
| ジオカフェの運営 | ・少人数カフェ方式のトークセッションの開催（4回） |
| 学 校 教 育 と の 連 携 事 業 | ・教育マンガ冊子「伊豆半島のひみつ」の配布 （15市町の5年生5,018人） ・ジオパーク学習 小学校12校、中学校5校、高校2校 ・高知県立室戸高等学校と韮山高等学校との交流支援 |
| 調 査 研 究 事 業 | ・学会等への参加及び発表、講演（全29件） ・全研究員の論文が、査読付学術誌に掲載決定 ・保全・教育・持続可能な開発の3つのワーキンググループによる事業提案（28事業） ・世界ジオパークネットワーク（GGN）及び日本ジオパークネットワーク（JGN）が実施する大会や研修会への参加 |
| 改善勧告対応事業 （再認定対応事業） | ・ユネスコによる現地調査への対応 ・ユネスコからの指摘事項への対応 |
| 国際協力・交流促進 | ・室戸ジオパーク、韓国ハンタンガンジオパークでの国際フォーラムに専門職員を派遣 ・黒潮海流沿いに位置する国内のジオパークと連携して、共同展示物を制作し、国内4か所でイベントを開催 |
| 多言語化・デジタル化 情 報 発 信 事 業 | ・世界再認定の資料となる文書（事業報告書、主要事業の企画書）を英語化し、ウェブページ上で公開 ・デジタルマップの運用を開始し、賀茂地域局「若旅プロジェクト」と連動して音声ガイドをマップ上で公開 |
| ジオガイド養成事業 | ・ジオ検定1・2級及び3級の実施（受験者数56人） ・次期指摘事項への対応や新しい技術の習得を目的とした、認定ジオガイドのスキルアップ研修を実施（参加者13人） |
| ジ オ ツ ー リ ズ ム 促 進 事 業 | ・JGN全国大会や各地のジオパーク研修に、若手の認定ジオガイドが参加（延べ23人） ・国による、伊豆半島エコツーリズム推進全体構想の認定 |

○アウトドア資源を活用したツーリズムの推進

旅行消費額の拡大を図るため、アウトドア資源と地域の観光資源を掛け合わせた体験・滞在型観光コンテンツを造成する、地域DMO等又は観光事業者の取組を支援した。

【アウトドア資源を活用した体験・滞在型コンテンツ造成事業費補助金の実績】

| | | |
|---------------|--|--|
| 要件 | アウトドア資源と地域資源を掛け合わせた体験・滞在型プランの新規造成・拡充を目的とした事業 | |
| 期間 | 令和7年5月1日～令和8年2月28日 | |
| 支援対象 | <ul style="list-style-type: none"> ・市町、DMO、観光協会、一般社団法人、NPO ・上記と連携する県内観光事業者 | |
| 補助率 | 1/2（上限3,000千円） | |
| 補助実績 | <ul style="list-style-type: none"> ・3事業者 3事業 | |
| | 申込者名 | 造成コンテンツ |
| | 河津町観光協会 | 河津七滝で四季を感じる「通年型アウトドアサウナ & ガストロノミー体験」造成事業 |
| | 株式会社愛ノ宮 トラベル | 袋井市観光におけるマイクロモビリティ導入による新たな観光体験コンテンツ |
| 松崎町観光協会 | 星空鑑賞等によるナイトタイムコンテンツの造成 | |
| ※静岡県観光協会による補助 | | |

○歴史・文化資源を活用したツーリズムの推進

箱根八里の日本遺産（平成30年5月指定）や駿州の旅日本遺産（令和2年6月指定）など、本県に多く存在する街道資源を活用した誘客・周遊施策等を実施した。

【事業実績】

| 区分 | 内容 |
|------|---|
| 情報発信 | <p>全国街道交流会議全国大会「三島大会」への参画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：令和7年11月21日 シンポジウム 令和7年11月22日 現地研修会 ・内容：同大会を通じて本県の街道資源を全国にPR |

○アニメコンテンツを活用したツーリズムの推進

アニメコンテンツを活用した誘客及び現地消費額の拡大を図るため、『ゆるキャン△』と連携した誘客促進を実施するとともに、各地域を代表するアニメ作品との連携事業を実施した。

【事業実績】

| 区 分 | 内 容 |
|----------------------|--|
| 情報発信ツール多言語化 | 『ゆるキャン△』モデル地マップの多言語化（英・韓・繁・簡） <ul style="list-style-type: none"> ・内 容：展示会等で使用するモデル地マップの多言語化 ・時 期：令和7年10月完成・海外駐在員事務所等で配布開始 ・制作数：各言語1,200部 |
| 複数アニメ情報発信ツール制作 | 県内が聖地のアニメをとりまとめた「静岡県アニメ聖地マップ、ウェブサイト」の制作 <ul style="list-style-type: none"> ・内 容：『ゆるキャン△』、『ラブライブ!サンシャイン!!』、『シン・エヴァンゲリオン劇場版』、『ちびまる子ちゃん』のモデル地を反映したマップを制作 ・時 期：令和8年3月完成・配布開始 ・制作数：15,000部 ・閲覧数：19万ページビュー（令和8年3月10日～3月26日） |
| TIPSを活用したデジタルスタンプラリー | 『ゆるキャン△』モデル地を巡るデジタルスタンプラリー <ul style="list-style-type: none"> ・内 容：県中部・伊豆15箇所を巡るラリー ・特 典：ARキャラクター、先着品配布・限定コラボグッズ景品、等身大パネル設置 ・期 間：令和7年10月～令和8年1月 ・実 績：3,825人参加（県内在住：40%、県外在住：60%） 30,565個スタンプ獲得 |
| 駿河湾フェリーとの連携による需要喚起 | 駿河湾フェリーと連携した船内限定企画によるモデル地周辺への誘客促進 <ul style="list-style-type: none"> ・内 容：キャラクター船内アナウンス、先着品配布、限定コラボグッズ販売 ・時 期：令和7年10月～令和8年1月 ・実 績：乗船者数809人、グッズ売上約4,000千円 |
| ホームページでの情報発信 | 特設サイト静岡県×『ゆるキャン△』による情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・期 間：通年で発信 ・内 容：県内トピックスやモデル地情報の掲載 ・閲覧数：102万ページビュー（令和7年4月1日～令和8年3月31日） |
| イベント出展 | 県内関係市町と連携したイベント出展によるPR <ul style="list-style-type: none"> ・内 容：みのぶふるさとまつり（5月）、 『ゆるキャン△』公式イベント（11月、3月） |

○映画・ドラマ等のロケ誘致及び観光資源化の促進

映画やテレビ番組等のロケーション誘致や、制作をサポートするフィルムコミッションなどのロケ支援団体の取組を支援するため、専任コーディネーターを配置するとともに、ロケツーリズムによる地域振興を目指した取組を推進した。

【事業実績】

| 区 分 | 内 容 |
|------------------------------|--|
| ロケツーリズム コーディネーター の 設 置 | ロケ支援活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 制作者からの問合せ窓口、追跡調査 ・ 制作者に向けたロケ地情報の発信等による営業活動 ・ 経験の浅い市町でのロケ及びロケハンへの随行 地域連携活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 制作者と市町ロケ支援団体との調整 ・ 相談対応、助言、情報共有等による市町支援 実績 <ul style="list-style-type: none"> ・ ロケ地問合せ：125件 ロケ実施：19件 |
| 県有施設の活用 | 県庁本館等 <ul style="list-style-type: none"> ・ 映画「FUJIKO」（令和8年6月公開） ・ 24時間テレビ48ドラマスペシャル「トットの欠落青春記」（令和7年8月放送） その他県有施設（日本平夢テラス、静岡県立大学、県立高校・学校等） <ul style="list-style-type: none"> ・ 映画、テレビドラマ、CM等 |
| 情 報 発 信 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 専用WEBサイト（静岡フィルムコミッションnet）によるロケ資源情報の発信（令和7年度から多言語化対応（英、韓、簡、繁、タイ）） ・ 専門誌「ロケーションジャパン」8月号での特集掲載やSNS等での県内ロケ地の紹介や全県のロケ地マップ（10,000部）作成 |
| ロケツーリズム 研 修 会 | 第1回（19人参加） <ul style="list-style-type: none"> ・ 時 期：令和7年6月5日 ・ 対 象：県内市町の観光担当課、シティプロモーション担当、静岡県フィルムコミッション連絡協議会会員 ・ 内 容：ロケツーリズムを活用したシティプロモーションの方法 県内外の事例紹介等 第2回（22人参加） <ul style="list-style-type: none"> ・ 時 期：令和7年11月7日 ・ 対 象：県内市町の観光担当課、シティプロモーション担当、静岡県フィルムコミッション連絡協議会会員 ・ 内 容：各地域のロケ誘致やロケを受け入れやすくするための体制作り ロケ誘致につながるロケ候補地の提案方法等 |

○教育旅行の推進

訪日教育旅行については、現地説明会やファムトリップ等の実施により新たな需要の開拓に向けた取組を行った。

国内の教育旅行については、県内の事業者との定期的な連絡会を開催し、情報共有を図ったほか、専門人材による県外旅行会社への営業活動を行った。

【訪日教育旅行の誘致促進】

| 区 分 | 内 容 |
|---------------|--|
| 受入調整 窓口の設置 | <ul style="list-style-type: none"> ・海外駐在員事務所や海外旅行会社からの問合せ対応 ・学校交流等の受入先の選定 |
| 県内学校 の受入支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・歓迎式等の交流にかかる経費の支援 |
| 台 湾 | <p>現地個別相談会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内 容：静岡県ブースを出展 ・時 期：令和7年6月10日～11日（台北・高雄） ・対 象：台湾教育関係者 ・相談件数：37件 <p>意見交換会（東京）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時 期：令和7年10月21日 ・対 象：台湾教育関係者 ・参加者：76人 <p>ファムトリップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内 容：教育要素を意識したコースを体験 ・対 象：台湾教育関係者 ・時 期：令和7年10月21日～26日 ・参加者：7人 <p>現地説明会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内 容：静岡県台湾事務所主催による現地説明会を開催 ・時 期：令和8年1月7日～8日 ・対 象：台湾教育関係者 ・参加者：72人 |

【国内教育旅行の誘致推進】

| 区 分 | 内 容 |
|-----------------|---|
| 受入団体連絡会 の開催 | <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：第1回：令和7年7月4日 第2回：令和7年12月12日 第3回：令和8年2月27日 ・参加者：県内市町、DMO、宿泊施設等 47人 |
| 専門人材による 営業活動 | <ul style="list-style-type: none"> ・対 象：県内の受け入れ施設 ・営業実績：8回 ・営業先：県内8か所 |

○広域連携による観光誘客

(1) 黄金K A I D O

中央日本四県（新潟県、長野県、山梨県、静岡県）を観光周遊エリアとして、佐渡（新潟県）と土肥を結ぶ海路と陸路のルートを「黄金K A I D O」とネーミングし、同エリアの観光誘客を一体的に促進した。

【事業実績】

| 区 分 | 内 容 |
|--------------------|--|
| リーズナブルな 交通料金の設定 | <p>NEXCO中日本と連携した域内周遊の促進 「速旅」中央日本四県周遊ドライブプラン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 間：令和7年6月1日～令和8年2月28日 ・内 容：高速道路の定額乗り放題プランの実施による域内の周遊促進 ・実 績：183台 |
| | <p>フェリー運賃の割引</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 間：令和7年6月1日～令和8年2月28日 ・内 容：高速道路の定額乗り放題プラン利用者に、駿河湾フェリー（半額割引）、佐渡汽船（最大49%割引）の割引を適用 ・実 績：駿河湾フェリー0人、佐渡汽船245人 |
| 域内周遊・域内 誘客 | <p><中央日本四県周遊ドライブプランの告知広告> WEB、SNS広告等配信の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 間：令和7年8月22日～令和7年8月31日 ・内 容：Metaディスプレイ広告（Instagram、Facebook） ・実 績：クリック数764回 <p>交通広告（ポスター）の掲出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 間：令和7年8月25日～8月31日（静岡県） 内 容：JR静岡駅、浜松駅、沼津駅、三島駅、清水駅構内 ・期 間：令和7年8月24日～8月30日（長野県） 内 容：JR長野駅 ・期 間：令和7年9月1日～9月30日（山梨県） 内 容：中央高速道路双葉SA ・期 間：令和7年8月22日～8月31日（新潟県） 内 容：万代シティ <p>SNSアカウントの記事投稿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 間：令和7年11月21日～令和8年3月13日 ・内 容：中央日本四県の観光やグルメに関する情報発信 ・実 績：13回 <p>黄金K A I D O知名度向上（イベントの実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 間：令和7年8月22日～9月21日 ・内 容：黄金K A I D O公式キャラクター名募集 ・実 績：応募238件 |
| 協賛企業・団体 の協力 | <p>黄金K A I D O協賛企業、団体の募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期 間：令和7年4月～令和8年3月 ・内 容：旅行客の受け入れ、商品の販売やサービスを提供する企業・団体を「黄金K A I D O協賛企業」として募集、協賛企業は、HPへ掲載しSNSなどで発信 ・実 績：641件（令和8年3月末時点） |

(2) 三霊山をテーマとした三県の周遊促進

日本三霊山（富士山、立山、白山）を擁する静岡県、富山県、石川県が連携し、三県の周遊促進による地域振興と交流拡大に取り組んだ。

【事業実績】

| 区 分 | 内 容 |
|---------------------------------|--|
| 三霊山をテーマとした三県周遊促進イベント 【石川県事業】 | 3県を周遊するバイクライダーのツーリングラリーイベント <ul style="list-style-type: none"> ・バイクライダーが、2日間（令和7年10月10日～11日）で3県の神社等を周遊するイベントを開催 ・富士山五合目（御殿場口）でスタートイベントを実施 ・ゴール地点の白山一里野温泉スキー場（石川県白山市）でゴールイベント実施 ・参加者バイクライダー：496人（ソロ：472人、タンデム：24人） |
| インバウンド誘客 【富山県事業】 | 三霊山をフックにした海外向け観光PR <ul style="list-style-type: none"> ・相互に商談会等やSNS等を活用し情報発信等 |
| 農泊魅力発信 【静岡県事業】 | 三霊山周辺地域の農泊や農業体験の相互情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・各県の農泊情報サイトで、三霊山周辺の農泊情報を発信 ・静岡県は、静岡県観光協会の「ハローナビしずおかBlog」内の「農泊ガイド」に、富士山周辺の農林漁家民宿を紹介する記事を作成 各県の農泊地域の取組視察 <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：富士山周辺（御殿場市・富士宮市）の農泊地域 ・日 程：令和7年12月11日～12日 ・参加者：三県の農泊関係者等計29人（石川県10人、富山県9人、静岡県10人） ・内 容：講師による講演・研修、農家民宿宿泊体験・プログラム体験、交流会 |

(3) 昇竜道（ツーリズムEXPO）

ツーリズムEXPOジャパン2025が、愛知県を会場に中部圏で初めて開催されることになり、中部圏における国内外からの誘客や広域周遊を促進するため、中部北陸9県(※)で連携し、中部圏の観光コンテンツを共通テーマで結びつけた一体的なPRを行った。※富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県

【事業実績】

| | |
|------|---|
| 名 称 | ツーリズムEXPOジャパン2025 愛知・中部北陸 |
| 日 程 | 令和7年9月25日（木）から9月28日（日）まで（4日間） |
| 入場者数 | 126,900人 [内訳] 商談日（9月25～26日）：38,400人 一般日（9月27～28日）：88,500人 |
| 会 場 | A i c h i S k y E x p o （愛知県常滑市セントレア5丁目10番1号） |
| 主 催 | 日本観光振興協会、日本旅行業協会、日本政府観光局 |
| 主な内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・展示商談会（世界各国の展示ブースによる紹介や商談会の実施 ほか） ・フォーラム&セミナー（TEJ観光大臣会合、愛知・中部北陸にちなんだシボジウムほか） ・顕彰事業（ツーリズムの発展・拡大に貢献した団体等による取組の表彰ほか） |

○観光商品企画造成支援

(1) 商品造成支援（オペレーター機能強化）

多様化する旅行者ニーズに合わせ、掘り起こした資源をアレンジし、付加価値を高めて商品として提供するため、静岡県観光協会に配置した、旅行商品づくりの専門人材を活用して商品造成を進め、売れる商品づくりを支援した。令和7年度は、57件の支援要請があり、36件の商品が造成された。

(2) 誘客の実効性を高める指導・助言

商品企画や広報等の専門的なスキルを持つ「しずおか観光振興アドバイザー」（令和7年度末41人）を、誘客事業等を実施する市町や団体に対して派遣した。令和7年度は、4団体からの派遣要請があり、延べ66人に対し指導・助言を行った。

○駿河湾フェリーを活用した周遊促進

環駿河湾地域の周遊観光を促進するため、地域の魅力向上に取り組むとともに、フェリーの利用促進策に取り組んだ。

【駿河湾フェリーの利用状況】※令和7年8月1日～9月11日、10月1日～11月5日は運休

| 旅客数 | 車両台数 | | | | | 輸送人員 |
|---------|--------|--------|--------|------|-----|---------|
| | 二輪 | 乗用車 | バス | トラック | | |
| 39,962人 | 1,976人 | 8,807台 | 8,537台 | 227台 | 43台 | 48,769人 |

【環駿河湾地域の魅力の向上（環駿河湾観光交流活性化協議会）】

| 区分 | 内容 |
|----------|--|
| 観光交流促進事業 | <p>チャーター便を活用した旅行商品造成に対する助成</p> <ul style="list-style-type: none"> 駿河湾フェリーのチャーター便を活用した旅行商品の造成・販売を行う旅行者に対し支援金を交付（交付確定：3件） <p>団体旅行誘致支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期便を利用するパッケージツアー造成支援 駿河湾フェリーの徒歩乗船を行程に含むパッケージツアーを催行する事業者に対し、支援金を交付（事業実績：ORC（※）事業6社、バス補助事業 大型176台、中型14台） ※オーバーライディングコミッション：一定期間の送客実績が設定人数を上回る場合、契約に応じた金額を通常の手数料に上乗せして支払う仕組み。 <p>駿河湾フェリー清水港乗船場移転プロモーション（日の出地区→江尻地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> JR東海と連携した移転告知（中吊広告・ポスター掲出） 駅商業施設と連携した移転告知（来館者対象キャンペーン・デジタルサイネージほか） 新聞への掲出（静岡新聞など） SNSキャンペーン 広告用動画の制作 等 |

| | |
|---------|--|
| 広告宣伝事業 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 徒歩乗船者が下船後に活用できるウォーキングマップの制作 ・ 環駿河湾地域の体験スポットや観光イベントなどを一覧にしたマップの制作 ・ 船旅ツアーガイドのAIデータを制作 |
| 周遊活性化事業 | <p>3市3町の住民限定、利用促進キャンペーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容：3市3町の住民に対して、フェリー乗船券を半額で販売 ・ 対象：3市3町の住民 ・ 利用実績：3,758人（大人3,509人、小人249人） <p>駿河湾フェリー応援隊を対象とした回数券の販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容：額面8,000円分（4回分）の回数券を5,000円で販売 ・ 対象：駿河湾フェリー応援隊事業に賛同する企業 ・ 販売数：9セット <p>通院利用キャンペーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容：フェリーを利用して、通院した3市3町の住民に対して、復路のフェリー乗船料を無料にする。 （車両乗船時は2,000円割引） ・ 対象：3市3町の住民 ・ 利用数：大人1人 |

【駿河湾フェリーを活用した県内周遊促進等】

| 区分 | 内容 |
|---------------------|---|
| 訪日旅行客の誘致 | 国内ランドオペレーターや海外の旅行会社を訪問し、駿河湾フェリーを活用した商品造成・販売の働きかけや、PR動画を制作 |
| 駿河湾フェリーを活用した県内周遊促進 | <p>運賃割引キャンペーンの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施期間：令和7年4月14日～令和8年3月29日 ・ 利用者数：計6,074人 |
| 乗船者の満足度向上 | 映えスポットの創出及び修繕 |
| デジタルサイネージを活用した情報発信等 | 丸の内及び日本生命本店のデジタルサイネージで放映 |

○環駿河湾地域の人流創生の加速化

環駿河湾地域の周遊促進及び交流活性化を図るため、静岡市と連携し、広域での周遊イベントや駿河湾フェリー内のコンテンツ開発を行い、県中部と東部・伊豆半島とを結ぶ新たな人流を創出するとともに、土肥港側の2次交通を改善することで、徒歩旅行者が安心して旅行できる環境の整備及び伊豆周遊の拠点化を行った。

【事業実績】

| 区 分 | 事 業 内 容 |
|---------------|---|
| 人流の創生 | <p>「ミステリークルーズ」で環駿河湾地域での交流の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ AR 謎解きゲームの開発及び提供 ・ 謎解きキットの配布 ・ イマーシブ体験テストプレイ ※船室内でSPAC役者が演技 ・ Japan 2Go を活用した3市3町観光情報アプリの提供 ・ AR 富士山フォトフレーム3種の開発及び提供 |
| 土肥港 2次交通改善 | <p>電動トゥクトゥク実証運行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施期間：令和8年1月31日～3月8日 ・ 貸出場所：土肥港、土肥金山（2時間 2,000円～） ・ 稼働台数・日数：①土肥金山HUB：設置4台稼働日数36日 ②土肥港HUB：設置2台稼働日数18日 ・ 利用状況利用組数：38組76人（うち子供5人） うちフェリー運航日利用組数：27組54人 ・ モニター調査を実施 ＜調査結果＞ 総合満足度及び観光体験としての満足度は95.7%が「満足」以上と回答し、次回利用意向も89.9%と非常に高い評価を得られた。一方、移動の快適さについては「やや不満」が17.4%、安心・安全性については「やや不満」及び「不満」の合計が17.4%となる等の課題も確認された。 |
| プロモーション | <p>早春の伊豆の魅力発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アニメ「ちびまる子ちゃん」を活用したインバウンドの取込み強化 ・ SBSテレビタイアップ番組制作（浜松出身アイドル出演） ・ ショート動画（船内用、SNS用）の制作及び放映 ・ 首都圏記者会見の実施 ・ メディア114媒体で広報（広告換算値175,271,978円） |

○旅行会社や交通事業者と連携した周遊促進

旅行者の滞在日数の長期化を促進し、旅行消費額の拡大を図るため、静岡県を目的地としたグループ旅行商品の造成支援や交通事業者と観光事業者等が連携して行う地域の周遊性向上を図る取組を支援した。

【グループ旅行商品の造成支援実績】

| 区分 | 助成額 | 要件 | 実績 |
|-------------------------|------------|---|-------|
| グループ旅行商品造成支援 | 30,000 円/台 | 旅行行程に平日を2日以上 + 県内に宿泊する10人以上 の団体旅行 | 269 台 |
| 加 富士山静岡空港・ 駿河湾フェリー利用 | 10,000 円/台 | | |
| 算 県内バス事業者利用 | 10,000 円/台 | | |
| 県内2泊以上 | 10,000 円/台 | | |
| 関西エリア出発 | 10,000 円/台 | | |

【交通事業者等による周遊観光促進事業費補助金の実績】

| | | |
|--------------|---|--|
| 要件 | 地域と連携して行う旅行者の周遊・滞在日数の長期化を促進する事業 | |
| 期間 | 令和7年4月1日～令和8年3月31日 | |
| 支援対象 | <ul style="list-style-type: none"> 県内に事業所等を有する交通事業者 交通事業者と連携する県内観光事業者 | |
| 補助率 | 1/2（下限500千円、上限5,000千円） ※うち運賃割引に係る経費は上限3,750千円 | |
| 補助実績 | <ul style="list-style-type: none"> 3事業者 3事業 | |
| | 申込者名 | 事業名 |
| | 株式会社JR東海ツアーズ | 交通事業者等の協業による「清水駅（清水港）」「三島駅（土肥港）」を起点とした伊豆半島・清水港湾エリアへの誘客促進事業 |
| | 伊豆急行株式会社 | 観光型MaaS「伊豆navi」を活用した地域周遊促進事業 |
| 秋葉バスサービス株式会社 | 観光振興のバス路線「小國神社線」の実証運行 | |

○デジタル地域通貨を活用した周遊促進

(1) しず旅コイン

県内周遊の促進と旅行消費額の拡大を目指し、環駿河湾地域において、旅先納税（ふるさと納税）を活用したデジタル地域通貨「しず旅コイン」を設定した。

【事業実績】

| | | | | |
|-------|--|----------|----------|---------|
| 概要 | <ul style="list-style-type: none"> 3市2町（静岡市、伊豆市、下田市、南伊豆町、松崎町）のいずれかに寄附をすると、寄附額の30%分のデジタル地域通貨「しず旅コイン」が返礼品として受け取れる仕組み（旅先納税）を導入。 返礼品として受け取った「しず旅コイン」は、3市2町内の加盟店での支払いに利用可能。（3市2町での広域連携） | | | |
| 期間 | 令和8年1月9日～ | | | |
| 実績 | 令和8年3月末時点 | | | |
| | 寄附件数 | 寄附金額 | コイン発行額 | コイン利用額 |
| | 14件 | 350,000円 | 105,000円 | 60,310円 |
| | ・加盟店数 73店舗（宿泊8、飲食52、体験13） | | | |
| 広報の取組 | <p>関係事業者との共同記者発表の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 11メディアが取材に訪れ、テレビ、ネット等各種媒体でOA・掲載 <p>本県来訪前（旅マエ）の認知度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 「しず旅コイン」公式インスタグラム等で、使い方の説明や加盟店情報の発信を実施。3月末時点フォロワー数1,600以上。 国内旅行予約サイト大手のじゃらんnet内に、特集ページ及びニュースページを制作 <p>本県来訪中（旅ナカ）の認知度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> チラシ、ポスター、卓上POP等の販促物を作成し、加盟店や観光協会等へ配付 JR静岡駅改札口付近でのポスター掲示や、車両中吊り広告、駅構内でのPR活動などを実施 | | | |

ふるさと納税でもらえる デジタル地域通貨「しず旅コイン」1月9日スタート

○「しず旅コイン」は、旅先納税の返礼品として受け取れるデジタル地域通貨

3市2町

静岡市 松崎町
南伊豆町 下田市
伊豆市

1 しず旅エリアのいずれかの自治体に寄附

2 寄附額の30%がデジタル通貨として返礼される

3 しず旅エリアの73店舗加盟店でお支払い時にコインが使えます。
※現金と併用可

SHIZUTABI しず旅コイン

体験
宿泊
食事

(2) しず旅きっぷ

環駿河湾地域において、観光客の周遊を促進し、旅行消費額の増加を図るため、交通サービス等のチケットのデジタル化を実施した。

【事業概要】

| | | | |
|----|--|----------------|----------------|
| 概要 | WEBから交通サービス・観光施設の電子チケット等の予約・購入を行える「しず旅きっぷ」の販売を実施 | | |
| 期間 | 令和8年3月18日～ | | |
| 内容 | 駿河湾フェリー、東海バス、伊豆箱根鉄道を組み合わせて使える伊豆観光に便利な電子チケット | | |
| 実績 | 令和8年3月末時点 | | |
| | ノーマル版 | ワイド版 | 計 |
| | 13件 (71,760円) | 17件 (108,800円) | 30件 (180,560円) |
| | ノーマル版：フェリー＋バス ワイド版：フェリー＋バス＋鉄道 | | |

<戦略的なプロモーションの展開>

○静岡県観光協会による旅行商品の企画と販売支援

旅行商品の企画に精通した「しずおかツーリズムコーディネーター」を静岡県観光協会に配置し、主に大都市圏や富士山静岡空港就航先の旅行会社等に対する本県向けの旅行商品の企画・販売支援を行った。

【しずおかツーリズムコーディネーターの活動実績】

| 区 分 | 内 容 | | |
|-----------------|--|---|-----|
| 旅行会社等への 営業活動 | ・実績：延べ746件 （首都圏175件、中京圏71件、関西圏447件、就航先等53件） | | |
| メディア向け 情報発信 | 報道・メディア各社へ県内の最新の観光情報を提供 ・実績：96件（月平均8件） | | |
| | 時期 | 提供先 | 件数 |
| | 4月 | 中日新聞、旅行新聞、交通新聞、関ブロ記者会見外来発表、エフエムたちかわ、JPタワー東京シティアイ自主イベント、旅行読売、旅の手帖、旅と鉄道、一個人、日本テレビ | 11件 |
| | 5月 | 日刊スポーツ×2、旅の手帖、テレビ朝日「食彩の王国」、エフエムたちかわ、メトロミニッツ | 6件 |
| | 6月 | 旅行読売、東京新聞、ノジュール、関ブロ記者会見外来発表、エフエムたちかわ、中央区観光情報センター、テレビマンユニオン「遠くへ行きたい」 | 7件 |
| | 7月 | 旅の手帖、日刊スポーツ（首都圏版）、旅行読売×2、エフエムたちかわ、旅行新聞 | 6件 |
| | 8月 | ジパング倶楽部×2、旅行新聞、関ブロ記者会見外来発表、JTBパブリッシング、エフエムたちかわ、イカロス出版、散歩の達人 | 8件 |
| | 9月 | 旅行読売、スポーツニッポン、旅行新聞、エフエムたちかわ、交通新聞社×3、日刊スポーツ、ジパング倶楽部 | 9件 |
| | 10月 | 男の隠れ家、旅行読売×2、ジパング倶楽部×2、まっふるトラベルガイド、エフエムたちかわ、旅の手帖、イカロス出版、昭文社、静岡新聞、観光経済新聞 | 12件 |
| | 11月 | 旅行新聞、まっふるWEB、デイリー東北新聞、釧路新聞、北羽新聞、陸奥新聞、エフエムたちかわ、旅の手帖、ON AIR | 9件 |
| | 12月 | 旅の手帖、イカロス出版（旅と鉄道）、旅行読売、男の隠れ家、エフエムたちかわ | 5件 |
| | 1月 | 旅の手帖、日刊スポーツ、昭文社（まっふる）、エフエムたちかわ、旅行新聞新社、ラジオ高崎、散歩の達人、旅行読売 | 8件 |
| | 2月 | ジパング倶楽部、旅行新聞新社、赤旗新聞、静岡新聞（駿河湾フェリー）、エフエムたちかわ、日刊スポーツ（首都圏版） | 6件 |
| | 3月 | 旅行新聞、旅行読売、日刊ゲンダイ、日刊スポーツ、JTBパブリッシング（ノジュール）、旅の手帖、エフエムたちかわ、ジパング倶楽部、男の隠れ家 | 9件 |
| ワンストップ サービス | 旅行会社等に対し県内の観光情報を一元的に提供 ・実績：944件（月平均78件） | | |

<インバウンドの拡大>

○外国人旅行者向けの商品企画及び販売促進

地域の観光資源の発掘や商品化を支援し、外国人旅行者のニーズに合致した高品質な観光体験プログラムを静岡県観光協会が運営する予約サイト「Explore Shizuoka」に掲載した。

【商品企画及び掲載実績】

| | |
|---------|----------------------------|
| 掲 載 件 数 | 89 商品（令和8年3月現在） |
| 内 容 | たきや漁、グランピング、サイクリング、お茶体験 ほか |

○海外宿泊予約サイトを活用した情報発信

外国人旅行者が多く利用する海外宿泊予約サイトで情報発信を実施した。

【情報発信実績】

| | |
|-------|---|
| 対 象 国 | 中国、韓国、台湾、香港、タイ |
| 期 間 | 令和7年8月～令和8年2月 |
| 内 容 | 特集ページ開設、対象市場への広告配信 |
| 結 果 | ・広告表示数： 5,205,006 回 ・クリック数： 51,477 回 |

○WEB・SNSでのインバウンド向け情報発信

外国人旅行者の情報収集の主要手段であるWEBを活用したプロモーションを実施した。

【情報発信実績】

| 区 分 | 内 容 |
|------------------|---|
| S N S での発信実績 | 外国人の専門スタッフによる、質の高い投稿を年間通して実施し、本県の魅力発信を強化 ・発信回数：180回 ・エンゲージメント数（率）：36,646回（10.84%） |
| S N S 用 動画の作成 | 縦型ショート動画を作成し、SNSでの発信を強化 ・制作本数：14本 |

○ランドオペレーターへの営業体制強化

県内の地域DMC等の営業力を強化するため、国内ランドオペレーターとの商談会や直接の訪問セールス等を実施し、合計で36件のツアー販売が決まった。

【実施内容】

| 区 分 | 内 容 |
|-------|---|
| 商 談 会 | <ul style="list-style-type: none"> ・時 期：令和7年8月7日 ・参加者：県内交通事業者等9社 欧米豪を対象とした国内ランドオペレーター9社 |
| 営 業 | <ul style="list-style-type: none"> ・ランドオペレーターへの訪問セールス：61件 ・ランドオペレーターの県内視察（ファムトリップ）：9社 |

【決定ツアー例】

| 区 分 | 内 容 |
|---------|---|
| オーストラリア | <ul style="list-style-type: none"> ・時 期：令和8年3月～12月 年間28本開催 ・人 数：最大980人 ・行 程：富士山世界遺産センター、KADODE OOIGAWA、茶の都ミュージアムなど |
| アメリカ | <ul style="list-style-type: none"> ・時 期：令和8年5月 ・人 数：最大30人 ・行 程：MOA美術館、起雲閣、伊豆パノラマパーク |

○海外旅行会社の商品造成支援

インバウンド需要の早期回復を図るため、静岡県を目的地とするパッケージツアーを催行する海外の旅行会社に対し、支援金を交付した。

【海外の旅行会社に対する支援実績】

| | |
|---------|--|
| 対 象 国 | 中国、香港、韓国、台湾、シンガポール、ベトナム、タイ |
| 支 援 対 象 | 静岡県内に1泊以上宿泊する旅行 |
| 支 援 額 等 | 静岡県内1泊：1人あたり1,000円 (加算)・静岡県内2泊以上：1人あたり5,000円を加算 ・駿河湾フェリーの利用：1人あたり1,000円を加算 |
| 支 援 実 績 | 36,291人 (内訳) 中 国：22,796人 シンガポール：240人 韓 国：4,495人 タ イ：826人 台 湾：5,013人 ベトナム：2,921人 |

○ナイトタイムコンテンツの造成

欧米豪の高付加価値旅行者の誘致を強化するため、静岡県ならではの魅力的な観光資源を活かした、ナイト・モーニングコンテンツを造成するとともに、プロモーション等を実施した。

【事業実績】

| エリア | 商品 | ポイント |
|-------|--|---|
| 伊豆 | 大地が紡ぐ物語 ～伊豆ジオパークと文化を巡る～ | 芸者と修善寺の温泉街散策 わさび収穫・食べ比べ・染め物体験 MOA美術館特別ツアー |
| 東部 | 富士の恵みと伝統に浸る ～湧水・藍染め・芸者と味わう極上の リトリート～ | みくりや藍染め体験 富士山の麓で朝ヨガ体験 月見酒と芸者の宵宴 |
| 東部 | 富士を極める冒険旅 ～サドルとハンドル、富士トレッキング～ | 複数のアドベンチャー体験 富士山夜の森ナイトウォーク 富士山下山トレッキング |
| 東部・中部 | 家康と浮世絵に出会う、静岡歴史旅 | 学芸員付き浮世絵鑑賞 浮月楼懐石×笛 茶会 静岡茶園・工場見学、ペアリング |
| 中部 | 南アルプスと駿河湾を結ぶ、絶景と 美食の道 | せり・サスエ前田見学 茶摘み体験、ティーテラス SLトロッコ列車 |
| 東部・中部 | 風を感じる富士山麓、和に触れる抹茶 と寿司 | 富士山E-Bike 寿司職人と朝市・寿司作り体験 抹茶工房見学・ラテづくり |
| 西部 | 豊かな自然が生んだ、ガストロノミー と匠のまち | ものづくり体験 (綿織物、YAMAHA、醤油絞り) えびすき漁 |

【富裕層向け海外商談会への参加】

| 区分 | プロモーションの内容 |
|---------------------------------|--|
| Connections Luxury UK (イギリス) | ・時 期：令和7年9月 ・内 容：静岡県の紹介21社（全商談31社） |
| Further East (インドネシア) | ・時 期：令和7年11月 ・内 容：静岡県の紹介23社（全商談33社） |
| ILTM Cannes (フランス) | ・時 期：令和7年12月 ・内 容：静岡県の紹介28社（全商談41社） |

○インバウンドベンチャー課題解決プロジェクト

県内自治体等が抱えるインバウンドに関する多様な課題を解決するため、革新的なアイデアや技術を持ったスタートアップ企業とマッチングし、課題解決にチャレンジする自治体等を支援した。

【支援実績】

| 自治体 | スタートアップ | 協業内容 |
|----------|-----------------|---|
| 東伊豆町 | しがとせかい(株) | ・AIによる訪日客データ分析・見える化 ・生成AIによる多言語での記事作成 |
| 富士市 | (株)Otono | ・GPS連動の音声ガイドMAP（英・中）作成 ・ユーザーデータ取得・分析 |
| 県空港振興課 | LocationMind(株) | ・インバウンド人流データ分析 |
| 下田市 | S04YOU(株) | ・韓国人インフルエンサーによるプロモーション ・アプリ内での体験型ツアー造成・販売 |
| 島田市 | ANd muni(株) | ・市特産をモチーフにした“練りきり”開発 ・ワークショップ・SNS分析 |
| 県スポーツ政策課 | (株)Plaru | ・AI旅行計画アプリ活用によるサイクリングスポット・ルート提案及び利用データ分析 |
| 焼津市 | (株)ビジョンサービス | ・AIチャットボットを活用した多言語対応 ・WEBアクセスデータによる旅客の動線分析 |
| 磐田市 | (株)mocha-chai | ・産業観光の導入 ・プログラム設計、モニターツアー、商品化 |
| 県文化財課 | (株)モズラボ | ・県内文化財等を組み合わせた旅行商品造成 ・OTAサイト販売、SNS発信 |

○インバウンド高付加価値地域資源マーケティング事業

消費額の大きい高付加価値旅行者に訴求力のある魅力的なコンテンツを発掘し、大都市圏に集中する訪日旅行需要の県内への取り込みを図るため、改善・発信を行った。

【事業実績】

| 区分 | 内容 |
|--------------------------|---|
| 既存コンテンツ・宿の評価分析 | <ul style="list-style-type: none"> ・評価分析は富裕層向けへの販売の視点から、4段階の評価 ・評価の基準、及び改善の余地がある場合も理由を記載 ・本県がターゲットとすべき属性（市場・趣向・年代）提案 商品 63 件+宿泊施設 45 件の評価を実施 |
| 高付加価値市場専門家による県内事業者向けセミナー | <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー：令和7年8月6日 64人参加 ・成果報告会：令和8年3月17日 26人参加 |
| 高付加価値化に向けた伴走支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー参加者の中から5社を選定 ①旅ノ舎（掛川市） ②川直（焼津市） ③大覚寺全珠院（焼津市） ④フジドリームエアラインズ（静岡市） ⑤むかし田舎体験水車むら（藤枝市） ・観光コンテンツの磨き上げのための、専門家による伴走支援を実施（各事業者、現地視察3回、オンライン面談2回） |

○2次交通改善実証実験事業

訪日外国人の県内周遊を促進するため、JR東海と連携し、新幹線駅を起点とし、清水港を結節点とする伊豆地域への広域周遊ルートの企画・造成を行ったほか、2次交通や宿泊等を訪日外国人にとって利便性高く購入可能な環境を提供した。

【事業実績】

| 区 分 | 内 容 |
|--------------------------|---|
| インバウンド向け周遊ルートの企画・造成 | <p>新幹線+インバウンド用フリーきっぷを活用したモデルコースを企画・造成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コース数：新幹線駅（静岡駅、新富士駅、三島駅）を起点に計3コース ・コースを掲載したLPの制作 ・リスティング広告配信（1/16～約1ヵ月） |
| メディア・インフルエンサー等によるプロモーション | <p>対象市場に訴求力のあるメディア等を招請し、周遊ルートについてWEB記事・動画等により情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・招請時期：令和7年11月20日～22日 <p><メディア></p> <ul style="list-style-type: none"> ・香港人向けメディア WEB記事+Facebook投稿(1/5公開・いいね数648件) ・台湾・香港向けサイト WEB記事+Facebook投稿(1/5公開・いいね数648件) ・台湾・香港向けメディア Facebook投稿3回(いいね数計425件) <p><インフルエンサー></p> <ul style="list-style-type: none"> ・香港人向け 動画1本(4.6万PV)+SNS投稿(Instagram:いいね数575件) ・台湾人向け 動画1本(4.4万PV)+SNS投稿(いいね数Instagram:570件、Facebook:362件) |
| 海外OTAを活用したプロモーション | <p>新幹線のQRチケットと周遊きっぷの双方を販売する海外OTA「KLOOK」で静岡県の特集ページを作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静岡県内駅を発着とする新幹線チケットに対するクーポンを発行 ・期 間：令和8年1月1日～1月31日 |

○静岡ツーリズムビューローと連携したプロモーション

外国人旅行者の本県への誘客を促進するため、海外旅行会社への旅行商品の企画販売促進、商談会への参加、メディアでの露出拡大、SNSを活用した情報発信等を展開した。

【市場別のプロモーション実績】

| 市場 | | 内容 |
|------|-----------|---|
| 対象市場 | 米 国 | <ul style="list-style-type: none"> ・ J N T O主催 B t o B 商談会「Japan Showcase」への参加（11月） ・ 旅行会社等ファミトリップ受入（3件） |
| | 英 国 | <ul style="list-style-type: none"> ・ B t o B イベント「Japan Showcase」へ参加（7月） ・ B t o B 商談会「PATA Roadshow」へ参加（2月） ・ 旅行会社等ファミトリップ受入（3件） |
| | 豪 州 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 訪日旅行 B t o B 商談会「Japan Roadshow」へ参加（8月） ・ 訪日旅行 B t o B 商談会「Japan Travel Showcase」へ参加（8月） ・ 訪日旅行 B t o B 商談会「Japan Travel Showcase」へ参加（9月） ・ 旅行会社等ファミトリップ受入（1件） ・ ゴルフツーリズム推進のため、県内DMCと連携した、現地旅行会社によるファミトリップ（3月）の実施 |
| | 共 通 | <ul style="list-style-type: none"> ・ J N T O主催訪日旅行 B t o B 商談会「V I S I T J A P A N トラベル&M I C E マート」へ参加（9月） ・ J N T O主催国内ランドオペレーター商談会「高付加価値旅行国内関係者ネットワークイベント」へ参加（1月） ・ S N S（Facebook、Instagram、YouTube）での情報発信（通年） ・ 海外旅行会社向けニュースレターの配信（通年） ・ 海外メディア向けプレスリリースの配信（通年） |
| 連携市場 | 台 湾 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 財団法人台湾観光協会主催 BtoC イベント「ITF 台北国際旅行博」へ参加（11月） ・ 日本観光振興協会主催 I T F BtoB 商談会へ参加（11月） ・ 現地旅行会社を訪問し、セールス活動実施（5社） |
| | 韓 国 | <ul style="list-style-type: none"> ・ ゴルフツーリズム推進のため、県内DMCと連携した、現地旅行会社によるファミトリップ（1月）の実施 |
| | 中 国 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内DMCによる旅行会社ファミトリップ実施に係る支援（5月） |
| | 県駐在員事務所共通 | <ul style="list-style-type: none"> ・ S N S 発信のための最新観光情報の提供、投稿用動画の作成・提供 |

○しずおか観光コンシェルジュの育成

海外富裕層旅行者の受入拡大と周遊促進を図るため、静岡県観光協会と連携し、訪日旅行における満足度の向上に必要となる「質の高いガイド」を育成する研修を実施した。

【事業実績】

| 区 分 | | 内 容 |
|------------------|----------------|---|
| 対象者 | | 英検 2 級程度で、県内でガイド業務に従事可能な者 |
| 講 師 | | 一般社団法人エコロジック 〔インバウンドを専門に個人向け自然体験ツアーを企画し、富裕層を含む世界中の旅行者からガイドとして高い評価を得ている団体。〕 |
| 基礎研修 | | <ul style="list-style-type: none"> ・日 程：3 日間（計 14 時間 試験を含む）（11/29～12/14） ・参加者：30 人（通訳案内士 13 人、無資格 17 人） ・内 容：座学やグループワークにより、質の高いガイド技術の基礎である「ツアーのテーマを考え、伝えること」を学ぶ。 ⇒プレゼンテーション試験を実施し 20 人が研修を修了 |
| 専 門 研 修 | スルーガイド | <ul style="list-style-type: none"> ・日 程：1 泊 2 日の研修（2/14, 15）+ 試験（2/28） ・参加者：3 人⇒2 人が修了 ・内 容：県内の複数の観光サイトを魅力的なストーリーでつなぐ滞在型ツアーの企画実施、プレゼンテーション試験 |
| | アドベンチャー ガイド | <ul style="list-style-type: none"> ・日 程：1 泊 2 日の研修（2/19, 20）+ 試験（2/28） ・参加者：3 人⇒1 人が修了 ・内 容：県内の観光サイトでの自然アクティビティ等の体験の企画実施、プレゼンテーション試験 |

| | |
|---------------|------------------|
| 基本方針 2 | 観光産業の基盤強化 |
|---------------|------------------|

<来訪者の受入環境の充実>

○高付加価値宿泊施設の誘致

専門知識を持った事業者や市町等と連携しながら、ホテル開発に必要な基礎情報の収集・整理を行うとともに、開発事業者等に対する営業活動等を実施した。

【事業実績】

| 区 分 | 内 容 |
|---------------------|---|
| 相 談 窓 口 の 設 置 | 開発事業者等からの相談、現地視察等に対応する相談窓口を令和7年12月に設置し、土地情報、観光資源、宿泊需要等の情報を提供 |
| 情報の収集・整理 各種資料の作成 | 土地情報・観光資源等のデータ収集・整理 ・県が収集した公有地・民有地（29件）の評価 ・エリア毎の地域資源の状況、観光客数、宿泊者数、人流データ、交通アクセス等の状況 営業用資料の作成 ・上記の情報等を踏まえた、開発事業者等への営業用資料を作成 |
| アンケート調査 | 開発事業者等へのアンケート調査 ・時 期：令和7年11月25日～令和8年2月28日 ・対 象：東京都、神奈川県、静岡県、愛知県、大阪府のゼネコン、デベロッパー、不動産会社、ホテル運営事業者等（1,000社） ・内 容：開発実績、県内開発意向、面談希望 ほか ・結 果：35社が静岡県で高級宿泊施設の建設を検討中 |
| 営 業 活 動 | ホテルの企画・開発実績がある開発事業者等に対するアプローチ ・回 数：19社 延べ21回 ・内 容：土地情報の提供、県内での開発意向、ホテル開発動向等のヒアリング |

○ユニバーサルツーリズムの推進

高齢者、障害のある方など、誰もが安心して旅行を楽しめる観光地域づくりを推進するため、モデル地域（伊東市、伊豆市）を選定し、旅行中の移動支援に係る実証や、観光施設のバリアフリー化改修の支援等を行った。

【事業実績】

| 区 分 | 内 容 |
|---------------------------|---|
| ユニバーサル ツーリズム 総合相談窓口 | ・設置日：令和7年6月10日 ・相談件数：29件 ・相談例：高齢者、障害のある人への接遇のポイント（宿泊施設） 施設のバリアフリー対応（宿泊施設） 視覚障害者の旅行支援（旅行者） |
| モ ニ タ ー ツアーの実施 | ・時 期：7月23日・24日（伊東）、9月19日・20日（修善寺） ・内 容：車いすユーザーと視覚障害者が、モデル地域の旅行における課題を抽出 |

| | |
|---------------------------|--|
| ユニバーサルツーリズム推進セミナーの実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・時 期：7月24日（伊東）、9月18日（修善寺） ・内 容：車いすトラベラーや、バリアフリー化改修の専門家による講演 など ・参加者：99人 |
| バリアフリーマップ、一括サポート依頼システムの運用 | <ul style="list-style-type: none"> ・時 期：令和8年3月～ ・掲載数：112施設（伊東市60施設 伊豆市52施設） ・内 容：施設のバリアフリー情報、車いす走行ログ等の表示 一括サポート依頼システム ・事業者：JR東海、JR東日本、伊豆急行、伊豆箱根鉄道、東海バス、タクシー3社 ・内 容：旅行者が必要とする介助等の情報に応じ、鉄道、バスなどでのサポートを一括手配 |
| 観光施設のバリアフリー化に対する助成 | <ul style="list-style-type: none"> 市町の策定する観光地バリアフリー化計画に基づく施設改修を支援 ・計画数：2市5計画（伊東市3計画 伊豆市2計画） ・改修施設数：11施設（伊東市8施設 伊豆市3施設） |

○観光施設整備の促進

県内観光資源の魅力向上に向けて、環境保全やユニバーサルデザインに配慮した県有観光施設の整備や維持管理を行うとともに、市町の中長期的な計画に基づく観光地域づくりに向けた観光施設の整備に対して助成した。

【観光施設整備の実績】

| 区 分 | 内 容 |
|--------------|--|
| 市町への助成 | 魅力ある観光地域づくりに向けた、観光施設の整備を行う市町へ助成（11市町14箇所） |
| 県有観光施設の改修・管理 | 東海自然歩道、富士山観光施設等の施設整備や適正な維持管理の実施（整備3箇所、補修3箇所） |

○旅行者の安全・安心の確保

令和6年8月の南海トラフ地震臨時情報発表を契機として、新潟県、山梨県、長野県、静岡県の中央日本四県により設置された「大規模災害時における外国人観光客の超広域避難に関する研究会」に参加した。

【研究会の最終報告書の概要】

| 各フェーズ（対応県） | 内 容 |
|----------------|---|
| 情報提供（被災県） | ・発災直後に外国人観光客等へ避難場所等を多言語で発信（Safety Tips や駐日大使館等のSNSを通じた情報発信） |
| 被災県内（被災県等） | ・災害発生直後に外国人観光客等帰国困難者を一時的に受入れている「一時滞在施設」から応援県に輸送するための一時的な集客・待機拠点である「被災県内輸送拠点」へ輸送 |
| 応援県内（応援県） | <ul style="list-style-type: none"> ・「被災県内輸送拠点」から「応援県内集約施設」へ輸送 ・国籍情報や帰国の意思を集約し、外務省、駐日大使館等へ共有 |
| 帰国（応援県・駐日大使館等） | ・帰国体制が整った外国人観光客から順に空港・鉄道駅へ輸送 |

令和7年9月に、本研究会の最終報告書をもとに、全国的な議論や国への要望活動につなげていく今後の方向性について四県で合意した。

<観光事業者の活性化>

○事業者の生産性向上や経営の効率化の促進

本県宿泊業の人手不足対策として、宿泊事業者の業務効率化や生産性向上及び社員寮の整備等の取組に対し、市町と連携して助成した。

【宿泊業の経営力基盤強化事業費補助金実績】

| 区 分 | 内 容 | 実 績 |
|-------|---|-----|
| 業務効率化 | 補助率：1/4(市町補助と同額以内) 上限額：750千円/施設 導入例：顧客管理システム、宿泊予約管理システム、非接触型自動チェックインシステム、温泉設備のデジタル監視システム、ロボット掃除機等 | 14件 |
| 社員寮更新 | 補助率：1/4(市町補助と同額以内) 上限額：2,000千円/戸（最大10戸/件） （※共同事業体による更新は最大15戸/件） 導入例：社員寮の建て替え | 1件 |
| 社員寮改修 | 補助率：1/4(市町補助と同額以内) 上限額：250千円/戸（最大10戸/件） 改修例：トイレ(洋式化)、浴室(ユニットバス)、キッチン(修繕)、床(畳取り替え、改修)等 | 6件 |
| 計 | | 21件 |

○観光地域づくりの中核人材の育成

静岡ツーリズムビューローと連携して、マーケティングやマネジメントに関する知見や経験を有した、観光地域づくりの中核を担うことができる人材の育成に取り組んだ。

【事業実績】

| 区 分 | 内 容 | 参加者数 |
|-----------|---|------|
| マーケティング研修 | ・時 期：令和7年11月6日、令和8年1月16日 令和8年1月23日 ・対 象：県内事業者、市町職員等 ・内 容：海外向けSNSのマーケティングに効果的な投稿についての研修 | 84人 |
| 情報交換会 | ・時 期：令和8年2月3日 ・対 象：県内事業者 ・内 容：金沢市におけるインバウンド誘客の取組紹介、情報交換会 | 15人 |
| セミナー | ・時 期：令和8年3月11日 ・対 象：県内通訳ガイド ・内 容：通訳ガイドセミナー | 35人 |

〇おもてなし力の向上

宿泊施設を対象とした、サービスの向上を図る研修や、旅行業者を対象とした資質向上を図る研修を実施するとともに、県内各地で活動している観光ボランティアガイドによる地域の歴史や文化を伝える取組を推進した。

【宿泊事業者を対象とした研修実績】

| 区 分 | 内 容 | 回数 | 参加者数 |
|------------|--------------------------|-----|------|
| 経営研修 | 労務対策研修、業務効率化のためのD X研修など | 14回 | 458人 |
| おもてなし研修 | こころのバリアフリー研修、地域の魅力発見事業など | 13回 | 352人 |
| 宿泊者安全対策研修 | 災害時対応研修、ホテル旅館の衛生管理セミナーなど | 8回 | 231人 |
| 外国人対応力向上研修 | 外国人観光客への接遇、トラブル対応等に係る研修 | 2回 | 41人 |

【旅行業者研修会】

| 日 程 | 内 容 | 参加者数 |
|-----------|--|------|
| 令和7年8月28日 | <ul style="list-style-type: none"> ・観光D Xにおける旅行業のI T化について ・クルーズ商品の販売について | 54人 |

【観光ボランティアガイドによるおもてなし体験イベント実績】

| イベント | 実施団体 | 参加者数 |
|------------|------|--------|
| 県民の日（8～9月） | 14団体 | 1,029人 |
| 富士山の日（2月） | 16団体 | 894人 |

〇ふじのくに子ども観光大使

観光に対する興味や理解を教育の早い段階から促し、地域の魅力を発信できる担い手を育成するため、NPO法人子ども未来と協働し、「ふじのくに子ども観光大使認定講座」を開催した。

【開催実績】

| 回次 | 内容 | 会場 | 参加者数 |
|------|---|--------|------|
| 第1回 | 了善寺で仏様の御教えを体験しよう | 藤枝市 | 12人 |
| 第2回 | 浜名湖うなぎ探検隊になろう | 浜松市 | 24人 |
| 第3回 | 江戸時代から続く茶農家の9代目でお茶作りが大好きな森内さんとお茶体験 | 静岡市 | 20人 |
| 第4回 | 温暖で水はけのよい愛鷹山麓の地で茶摘み体験をしよう | 沼津市 | 23人 |
| 第5回 | 初めてでも楽しめる！安全に海釣りを満喫しよう | 焼津市 | 29人 |
| 第6回 | 袋井市の特産品クラウンメロンの栽培について学ぼう | 袋井市 | 18人 |
| 第7回 | 日本の未来 最先端のリハビリ技術を学ぼう | 浜松市 | 15人 |
| 第8回 | 世界遺産構成資産 白糸の滝の魅力を知ろう | 富士宮市 | 18人 |
| 第9回 | 外国人が夢中になる「伊豆わさび」の秘密を学び、わさび博士になろう | 伊豆市 | 13人 |
| 第10回 | キウイフルーツカントリーで焼き火体験をしよう | 掛川市 | 15人 |
| 認定状況 | 子ども観光大使：15人（累計302人） 三ツ星子ども観光大使：12人（累計169人） | 延べ参加者数 | 187人 |

○文化施設等を活用した観光事業者との連携

(1) 日本平夢テラスの管理運営

令和7年度の来館者数は、451,399人となり、平成30年11月の開館以降4,074,478人の来館者となった。

管理運営については、指定管理者制度を導入しており、外部有識者による令和6年度の管理運営状況の評価は83点（100点満点）であった。

【指定管理者】

| | |
|-----------|--|
| 指 定 管 理 者 | ASC日本平グループ |
| 指 定 期 間 | 令和5年度～令和9年度（第2期） |
| 構 成 団 体 | アクティオ株式会社（代表団体） 静岡ビル保善株式会社、NPO法人コンベンション静岡 |

【外部評価委員会の結果】

| | |
|---------|-----------------------|
| 日 程 | 令和7年9月3日 |
| 評価対象期間 | 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで |
| 評 価 結 果 | 83点（100点満点） |

(2) プラサヴェルデの管理運営

令和7年度の利用者数は304,240人で、前年の298,081人を上回った。貸出日数（貸出可能日数）は3,542日（4,800日）で、稼働率は73.7%であった。

管理運営については、指定管理者制度を導入しており、外部有識者による令和6年度の管理運営状況の評価は4.0点（5点満点）であった。

【指定管理者】

| | |
|-----------|---|
| 指 定 管 理 者 | プラサヴェルデ運営共同事業体 |
| 指 定 期 間 | 令和6年度～令和10年度（第3期） |
| 構 成 団 体 | 株式会社コンベンションリンクージ（代表団体） 株式会社サン、鹿島建物総合管理株式会社 |

【外部評価委員会の結果】

| | |
|---------|-----------------------|
| 日 程 | 令和7年8月28日 |
| 評価対象期間 | 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで |
| 評 価 結 果 | 4.0点（5点満点） |

<観光地域づくり推進体制の強化>

○観光に関するデジタルデータの利活用推進

旅行の個人化やインターネットを活用した観光情報の収集が一般的となる中、旅行者の嗜好に合わせた情報を提供するとともに、取得した旅行者データを分析・解析することで、事業者がマーケティングに活用できる観光デジタル情報プラットフォームを構築し、観光分野のDXを推進している。

また、市町や関係団体、観光事業者等のマーケティングや戦略策定の基礎データとして活用してもらうため、県や観光庁の観光関連統計データをグラフ等で可視化したダッシュボードを新たに構築した。(令和8年4月公開)

【観光デジタル情報プラットフォーム】

| 区 分 | 機 能 | | | | | | | | |
|-----------------|---|---------|---------|---------|---------|-----|--------|--------|---------|
| データ 利活用基盤 | <ul style="list-style-type: none"> 観光施設等の情報や旅行者データ等を蓄積 観光アプリの操作履歴など、蓄積された旅行者データを分析することで、DMO等のマーケティングなどに活用 県や観光庁の観光関連統計データを蓄積し、ダッシュボードで可視化 | | | | | | | | |
| 観光アプリ (TIPS) | <ul style="list-style-type: none"> 旅ナカにおける効果的な情報発信 本県を旅行中の旅行者に対し、性別や年齢、位置、嗜好等に応じて、「今だけ、ここだけ、あなただけ」の情報を提供 TIPSの利用促進と旅行者データの収集のため、スタンプラリーの実施調整（プッシュ通知・バナー掲載）やアプリの改修を実施 <p><ダウンロード数></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 月</th> <th>令和6年3月末</th> <th>令和7年3月末</th> <th>令和8年3月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>累 計</td> <td>65,674</td> <td>88,565</td> <td>118,030</td> </tr> </tbody> </table> | 年 月 | 令和6年3月末 | 令和7年3月末 | 令和8年3月末 | 累 計 | 65,674 | 88,565 | 118,030 |
| 年 月 | 令和6年3月末 | 令和7年3月末 | 令和8年3月末 | | | | | | |
| 累 計 | 65,674 | 88,565 | 118,030 | | | | | | |



○観光アプリを活用した県内周遊促進

観光アプリ「TIPS」の利用促進と旅行者データの収集のため、TIPSに構築したWEBスタンプラリー機能を庁内外に無料で開放した。

【スタンプラリー開催実績】

| No. | 名 称 | 期間等 | 参加者数 |
|-----|---|---------------------------|-------|
| 1 | 浜名湖花フェスタスタンプラリー ((公財) 浜松・浜名湖ツーリズムビューロー) | R7. 3. 20～ R7. 6. 8 | 389 |
| 2 | 世界お茶まつり 2025 春の祭典 新茶フェアスタンプラリー (第9回世界お茶まつり実行委員会) | R7. 4. 19～ R7. 5. 21 | 818 |
| 3 | ユーラスエナジー河津カップ 2025 天城アタック 35「アタックチャンス」 (河津町トレイルレース実行委員会) | R7. 5. 10～ R7. 5. 11 | 139 |
| 4 | 美味らららスタンプラリー2025-2026 (観光振興課) | R7. 6. 6～ R8. 1. 31 | 895 |
| 5 | 歴史スタンプ道中いざ、蔦重を知る駿府・藤枝・相良の旅へ! (藤枝市郷土博物館・文学館、静岡市歴史博物館、牧之原市史料館) | R7. 6. 7～ R7. 12. 21 | 120 |
| 6 | 袋井おでかけスタンプラリー (前期) (袋井市商業観光課) | R7. 7. 1～ R7. 8. 31 | 616 |
| 7 | 袋井おでかけスタンプラリー (後期) (袋井市商業観光課) | R7. 9. 1～ R8. 10. 31 | 439 |
| 8 | ちびまる子ちゃんランド×静岡・清水まちなかスタンプラリー (静岡市中心市街地活性化協議会) | R7. 7. 3～ R7. 9. 30 | 994 |
| 9 | チャレンジ北遠スタンプラリー (静岡県グリーンツーリズム北遠支部) | R7. 7. 20～ R7. 11. 30 | 447 |
| 10 | 富嶽綺譚 頼朝&曾我兄弟と巡るデジタル史跡ラリー (富士市教育委員会文化財課) | R7. 7. 28～ R8. 3. 1 | 510 |
| 11 | おもいふかき遠州ぐるっと!スタンプラリー (静岡県遠州観光協議会) | R7. 8. 1～ R8. 1. 12 | 765 |
| 12 | 静岡県グリーンツーリズム協会西部支部スタンプラリー (静岡県グリーンツーリズム協会西部支部) | R7. 8. 2～ R7. 11. 30 | 247 |
| 13 | 掛川いいとこスタンプラリー (掛川市産業観光課、掛川観光協会) | R7. 8. 9～ R7. 11. 30 | 557 |
| 14 | 菊川夜街探検スタンプラリー (菊川市観光協会) | R7. 9. 1～ R7. 10. 15 | 181 |
| 15 | 秋のわくわく移住まつり 2025 in Fuji (富士市シティプロモーション課移住定住推進室) | R7. 9. 1～ R7. 11. 30 | 68 |
| 16 | 島田市デジタルスタンプラリー (大井川流域観光事業実行委員会) | R7. 9. 21～ R7. 12. 1 | 417 |
| 17 | 『ゆるキャン△』×静岡県 スタンプラリー (観光振興課) | R7. 10. 1～ R8. 1. 12 | 3,825 |
| 18 | 「しずおか遺産」スタンプラリー (しずおか遺産活用推進実行委員会) | R7. 10. 1～ R7. 12. 31 | 610 |
| 19 | 静岡市文化財特別公開デジタルスタンプラリー (静岡市歴史文化課) | R7. 10. 15～ R7. 11. 21 | 54 |
| 20 | わしづ駅前ちょこっとスタンプラリー (湖西市産業振興課) | R7. 10. 17～ R7. 11. 16 | 50 |

| | | | |
|--------|---|---------------------------|--------|
| 21 | 浜名湖サイクリング・デジタルスタンプラリー (浜名湖サイクルツーリング実行委員会、静岡エフエム放送(K-MIX)) | R7. 10. 18～ R7. 11. 16 | 207 |
| 22 | 出世の街浜松 家康公祭り 2025 デジタルスタンプラリー (浜松市観光・シティプロモーション課) | R7. 11. 1～ R7. 12. 21 | 266 |
| 23 | 藤枝歴史スタンプラリー (藤枝市郷土博物館・文学館) | R7. 11. 1～ R8. 3. 31 | 145 |
| 24 | わがまちHAMAMATSU20 祭～天竜川・浜名湖地域 12 市町村合併 20 周年記念メインイベント～(浜松市企画課) | R7. 11. 29～ R7. 11. 30 | 123 |
| 25 | 富士山麓イチバンめぐり (富士地区観光協議会) | R7. 11. 29～ R8. 2. 28 | 280 |
| 26 | 5クラブチャンスラリー (藤枝ゴルフクラブほか ゴルフ場運営会社 5 社) | R7. 12. 1～ R8. 3. 31 | 462 |
| 27 | 験(しるし)を修める!伊豆の御朱印スタンプラリー(熱海市)(IZAIJU 合同会社、美しい伊豆創造センター) | R7. 12. 1～ R8. 1. 31 | 419 |
| 28 | 験(しるし)を修める!伊豆の御朱印スタンプラリー(下田市)(IZAIJU 合同会社、美しい伊豆創造センター) | R7. 12. 1～ R8. 1. 31 | 240 |
| 29 | 『ズートピア2』公開記念デジタルラリー (株新通) | R7. 12. 5～ R8. 1. 31 | 1,510 |
| 30 | JR 東海掛川駅×掛川市 掛川推し! OCHASTA(おちやすた)～茶どころ掛川まちなかを巡るスタンプラリー～ (JR 東海(株) 掛川駅、掛川観光協会、掛川市産業観光課) | R7. 12. 15～ R8. 7. 31 | 開催中 |
| 31 | 伊豆総合高校土肥分校生が考えるサイクリングルート (スルガ銀行(株)、伊豆総合高校土肥分校) | R7. 12. 16～ R8. 5. 31 | 22 |
| 32 | 「年末詣」「初詣」をしながら静岡県を楽しもう (静岡エフエム放送株式会社(K-MIX)) | R7. 12. 20～ R8. 1. 31 | 497 |
| 33 | 岩本山公園発 富士の魅力まるごとスタンプラリー (富士山観光交流ビューロー、富士市交流観光課) | R8. 2. 1～ R8. 4. 10 | 250 |
| 34 | 岳南電車沿線マップスタンプラリー 第二弾 (富士市シティプロモーション課、岳南電車(株)) | R7. 12. 26～ R8. 2. 25 | 229 |
| 35 | 静岡おでん祭 2026 (静岡おでん祭実行委員会) | R8. 2. 1～ R8. 3. 1 | 196 |
| 36 | 御殿場の春を集めよう! (御殿場桜まつり実行委員会) | R8. 3. 23～ R8. 4. 19 | 121 |
| 37 | しずおかクラフトビール巡り 2026 ミニスタンプラリー (静岡クラフトビール協同組合) | R8. 3. 26～ R8. 3. 29 | 6 |
| 延べ参加者数 | | | 17,114 |

○専門家による市町・観光協会へのデータ活用伴走支援

市町・観光協会において各種旅行者データを活用した観光施策を推進するため、データサイエンティスト等の専門家による伴走支援を実施した。

【事業実績】

| | |
|-----------|--|
| 実施主体 | 公益社団法人静岡県観光協会 |
| 対 象 | 市町観光関連部署職員、市町観光協会、DMO |
| 研 修 会 | <p>実際に分析プラットフォームを操作することでデータの活用方法を実感してもらい、分析プラットフォームを閲覧する習慣を身につけるとともに、今後の利用促進に繋げるため、データ活用研修会を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 程：令和7年8月6日 ・内 容：静岡県データ分析プラットフォームについて 人流（GPS）データについて 基本的なデータの見方・操作方法 ・参加者：31組織（24市町）41人 |
| 伴 走 支 援 | <p>支援を希望する市町等に対し、専門家によるヒアリングを実施し、具体的な施策提言等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対 象：①磐田市、御前崎市、まちづくり公社おやま ②伊豆の国市、遠州観光協議会*、浜松・浜名湖ツーリズムビューロー *磐田市、掛川市、袋井市、御前崎市、菊川市、森町の観光担当課で構成される協議会 ・内 容：①プラットフォームからのデータ、事業者の意見、来訪者のアンケートから今後の施策検討までの一連の流れを支援 ②データ利活用に関する各地域の課題に対して、専門家の視点から支援 |
| フォローアップ | <p>令和5～6年度に伴走支援を実施した市町に対し、昨年度からの継続課題や新たな課題について、専門家からアドバイス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対 象：伊豆市、三島市、裾野市、富士宮市、掛川市、川根本町、東伊豆町 |
| 成 果 報 告 会 | <p>データ活用の必要性に対する認識を共有する成果報告会を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 程：令和8年3月13日 ・内 容：基調講演（京都市での取組（先進事例）紹介） 伴走支援市町の取組・成果発表 ・参加者：31人 |

○地域におけるDMO形成の推進

観光地域のマーケティングのマネジメント力を強化するため、「観光地域づくり」を担う組織である県内のDMO等との意見交換会を開催し、連携強化を図った。

【県内のDMO登録状況】

| 区 分 | 法人名 | マネジメント区域 |
|---------------|-------------------------------------|--|
| 都道府県 D M O | (公社)静岡県観光協会 | 静岡県 |
| 地 域 D M O | (公財)するが企画観光局 | 静岡市、島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、川根本町、吉田町 |
| | (公財)浜松・浜名湖 ツーリズムビューロー | 浜松市、湖西市 |
| | (一社)美しい伊豆創造センター | 沼津市、熱海市、三島市、伊東市、下田市、伊豆市、伊豆の国市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、函南町 |
| | (一社)伊豆市産業振興協議会 | 伊豆市 |
| | (一社)御殿場市観光協会 ※令和8年3月31日付でDMO登録取消 | 御殿場市 |
| | (一社)島田市観光協会 | 島田市 |

【新規DMO設置の動き】

| 団 体 名 | 区 域 | 状 況 |
|---------------|-----|-----------------------|
| (一財)熱海観光局 | 熱海市 | 令和7年3月25日「候補DMO」として登録 |
| (株)まちづくり公社おやま | 小山町 | 令和7年9月26日「候補DMO」として登録 |

【市町・DMOとの意見交換会】

| 区 分 | 中部・西部地区 | 伊豆・東部地区 |
|-----|--|----------------|
| 時 期 | 令和7年8月4日 | 令和7年8月8日 |
| 出席者 | 13市町、4DMO、地域局 | 14市町、5DMO等、地域局 |
| 内 容 | <ul style="list-style-type: none"> ・次期観光基本計画骨子について ・観光振興の取組状況等について | |

2 数値目標の達成状況

| 区分 | 指標 | 単位 | 基準値 | 実績 | | | | | 目標値 |
|-------------------------|---------------------------|----------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|------------------|-----|
| | | | 令和6年 (2024年) | 令和7年 (2025年) | 令和8年 (2026年) | 令和9年 (2027年) | 令和10年 (2028年) | 令和10年 (2028年) | |
| 成果 指標 | 県内旅行消費額 | 億円 | 8,627 | 2026年 6月公表 | - | - | - | 11,000 | |
| | 本県旅行に対する 総合満足度 | % | 95.7 | 95.0 | - | - | - | 97.0 | |
| | 日本人旅行消費単価 | 万円 | 2.84 | 2026年 6月公表 | - | - | - | 3.3 | |
| | 外国人旅行消費単価 | 万円 | 5.37 | 5.0 | - | - | - | 6.7 | |
| | 日本人宿泊者数 | 万人泊 | 2,111 | 【速報値】 2,006 | - | - | - | 2,300 | |
| | 外国人宿泊者数 | 万人泊 | (令和元年) 249 | 【速報値】 218 | - | - | - | 400 | |
| | 観光レクリエーション客数 | 万人 | 12,084 | 2026年 8月公表 | - | - | - | 13,000 | |
| 活動 指標 | 県やDMOが支援した コンテンツ数 | 件 | 累計 280 | 累計 338 | - | - | - | 累計 380 | |
| | SNSの エンゲージメント総数 | 万件 | 累計 34 | 累計 75 | - | - | - | 累計 180 | |
| | スタートアップ等と 連携した事業数 | 件 | 累計 15 | 累計 30 | - | - | - | 累計 75 | |
| | しずおか観光コンシェルジュ 登録者数 | 人 | 累計 0 | 累計 0 | - | - | - | 累計 40 | |
| | 市町の観光地バリアフリー化 計画策定件数 | 件 | 累計 0 | 累計 5 | - | - | - | 累計 8 | |
| | 観光地の高付加価値化に 取り組む地域数 | 地域 | 累計 0 | 累計 0 | - | - | - | 累計 6 | |
| | 事業者が実施するDX化等の 取組への支援件数 | 件 | 累計 33 | 累計 54 | - | - | - | 累計 150 | |
| 観光データの活用に 取り組む市町の支援数 | 市町 | 累計 17 | 累計 24 | - | - | - | 累計 35 | | |

(評 価)

○成果指標

- ・「本県旅行に対する総合満足度」については、前年比 0.7 ポイント減少した。項目別では、「観光地の魅力や特徴」や「観光地の自然・景観」の満足度は向上しているものの、「旅行前の観光情報収集のしやすさ」や「滞在中の観光情報・案内」が低下している。
- ・「外国人旅行消費単価」については、前年比 7.2% (約 4,000 円) 減少した。費目別では、単価に占める割合が大きい「買物代」が 9.8% (約 2,000 円) 減少、「宿泊費」は 1.9% (約 300 円) 減少した。
- ・「日本人宿泊者数」については、全国的な傾向 (前年比 3.8%減少) と同様に、前年比 5.0%減少した (速報値)。
- ・「外国人宿泊者数」については、令和 6 年の 189 万人から 218 万人へ約 29 万人増加、前年比では 15.8%増加し、全国の増加率 (前年比 8.2%) を上回った (速報値)。なお、令和 7 年 11 月に中国政府が日本への渡航自粛を公表し、令和 7 年 12 月～令和 8 年 3 月の中国人延べ宿泊者数は、前年比 (同時期) で 67.9%減少した (速報値)。

○活動指標

- ・「しずおか観光コンシェルジュ登録者数」については、研修の修了者はいたものの、登録者数は 0 人となった。
- ・「事業者が実施する D X 化等の取組への支援件数」については、物価高騰、原材料高等の影響により、事業計画を中止・延期する事業者があったことから、進捗に遅れが見られる。
- ・なお、上記以外の活動指標については、順調に推移している。

(改善)

- ・インバウンド誘客については、富裕層のニーズを満たす質の高い観光サービスが少なく、滞在の長期化や宿泊・周遊を促す、特別感のあるコンテンツが不足しているため、本県の豊富な観光資源を活用し、「富士山」×ゴルフ・モータースポーツ・ガストロノミーなど、旅行消費単価の高い富裕層を引きつけるコンテンツを提供するなど、他地域との差別化・高付加価値化を図っていく。
- ・国内誘客については、人口減少が進む中で旅行需要を維持・拡大するためには、新たな市場や取り込めていない需要の開拓が必要であることから、アニメ・ロケなど新しいコンテンツを活用した「推し活ツーリズム」を推進する。
- ・来訪者の受入環境の充実については、観光地域の高付加価値化整備に対する補助制度を新設し、宿泊施設や観光施設におけるインバウンドの受入拡大につながる改修や、老朽化した施設のリノベーション等への支援を行うことで、付加価値の高い滞在環境を実現し、滞在の長期化や消費の増加を図っていく。
- ・さらに、高齢者や障害のある方が、安全、安心に旅行ができる環境の整備を推進するため、引き続き、ユニバーサル M a a S の実証事業や観光施設等のバリアフリー化への支援を行うとともに、高付加価値宿泊施設の誘致を促進する。
- ・観光 D X については、データに基づく効果的な施策の実施を推進するため、観光デジタル情報プラットフォームの機能を強化し、県保有データのオープンデータ化を実施するなど、市町、DMO、観光事業者のデータ活用を促進するとともに、デジタルマーケティングの強化を図っていく。

静岡県観光振興条例

静岡県は、世界文化遺産の富士山や、伊豆半島、南アルプスや浜名湖などに代表される豊かで美しい自然に恵まれ、日本有数の温泉、豊富な食材、日本を代表する景観の茶園、さらには、国宝久能山東照宮等の歴史的建造物など、多彩で魅力ある観光資源を有しています。

私たちは、国内外から訪れる多くのお客様に多彩で高品質な農林水産物や地域の伝統芸能、文化などの魅力を伝える努力を積み重ねるとともに、富士山静岡空港などの基盤整備を推進し、観光の振興に取り組んできました。

観光は裾野の広い総合的な産業であり、その振興は地域経済の活性化、雇用の増大及び交流人口の拡大に寄与するものであることから、活力に満ちた地域社会の実現に向けて、本県の基幹産業の一つである観光の果たす役割はますます重要になっています。

こうした中、世界文化遺産登録を契機に、私たちはあらためて富士山と日本文化のすばらしさに気づき、郷土の誇りとして、これらを後世に継承していかなくてはならないことを再認識しました。

私たちは、恵まれた観光資源の魅力をさらに磨き上げるとともに、観光の振興の意義を理解し、お客様をおもてなしの心をもって温かく迎え入れる意識を育まなくてはなりません。

このような考え方に立ち、県、市町、県民、観光事業者及び観光関係団体が一丸となって地域の魅力を高め、観光の振興に関する施策を総合的に推進することにより、本県の持続的な発展と、真に豊かで活力に満ちた地域社会を実現するため、この条例を制定します。

(目的)

第1条 この条例は、本県の観光の振興についての基本理念及びその実現を図るために必要な事項を定めることにより、観光の振興に関する施策を総合的に推進し、もって本県の持続的な発展及び真に豊かで活力に満ちた地域社会の実現に寄与することを目的とする。

(定義)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 観光事業者 旅行者、宿泊業者、飲食業者、公共交通事業者その他の観光に関する事業を営む者をいう。
- (2) 観光関係団体 観光事業者が組織する団体及び観光の振興を目的として観光事業者、行政機関その他の関係者が組織する団体をいう。

(基本理念)

第3条 観光の振興は、次に掲げる基本理念に基づき行われなければならない。

- (1) 本県の観光資源を有効に活用し、かつ、次の世代に継承すること。
- (2) 地域の住民が愛着と誇りを持つことのできる活力に満ちた地域社会を形成すること。

- (3) 地域における創意工夫を生かした主体的な取組を尊重すること。
- (4) 国内外から本県を訪れる観光旅行者(以下「観光客」という。)の安全が確保され、安心して快適に観光を楽しめる環境を整備すること。
- (5) 観光が本県の主要な産業として発展するよう努めること。

(県の責務)

第4条 県は、前条に規定する基本理念(以下「基本理念」という。)にのっとり、観光の振興に関する施策を策定し、及び実施するものとする。

- 2 県は、観光の振興に関する情報の発信を積極的に行うとともに、県民、観光事業者及び観光関係団体が行う観光の振興に関する取組に対し、必要な支援を行うものとする。
- 3 県は、観光の振興の意義に対する県民の理解を深め、地域における観光の振興に関する取組への参画を促進するため、広報及び啓発を行うものとする。

(市町との連携等)

第5条 県は、市町と連携して観光の振興に関する施策を実施するとともに、市町が連携してそれぞれの地域の特性を生かして行う広域的な観光の振興に関する施策その他の観光の振興を図る取組に対し、必要な支援を行うものとする。

(近隣の県等との連携)

第6条 県は、観光の振興に関する施策を効果的に実施するため、近隣の県等と連携して、広域での観光の振興に関する施策を実施するものとする。

(県民の役割)

- 第7条 県民は、その一人ひとりが、郷土に愛着と誇りを持ち、おもてなしの心を持って、観光客を温かく迎えるよう努めるものとする。
- 2 県民は、その一人ひとりが、基本理念にのっとり、観光の振興の意義に対する理解を深め、地域における観光の振興に関する取組に参画するよう努めるものとする。

(観光事業者の役割)

- 第8条 観光事業者は、基本理念にのっとり、その事業活動を通じて主体的に観光客に対し心のこもったサービスを提供し、満足度を高めることにより、本県への再訪の意欲が高まるよう努めるものとする。
- 2 観光事業者は、基本理念にのっとり、観光客が安全に、安心して、快適に観光ができる環境づくりに努めるものとする。

(観光関係団体の役割)

第9条 観光関係団体は、基本理念にのっとり、観光関係団体相互の連携を図るよう努めるとともに、主体的に観光に関する情報の発信、観光客の誘致、観光の振興に寄与する人材の育成及び観光客の受入れ体制の整備に取り組むよう努めるものとする。

(施策の基本方針)

第10条 県は、次に掲げる基本方針に基づき、観光の振興に関する施策を実施するものとする。

- (1) 国際競争力の高い魅力ある観光地の形成
- (2) 観光産業の振興及び観光の振興に寄与する人材の育成
- (3) 観光客の来訪の促進
- (4) 安全、安心で快適な観光を促進するための環境の整備

(計画の策定と検証結果の報告)

第11条 知事は、観光の振興に関する施策を戦略的かつ積極的に推進するため、前条に規定する基本方針を踏まえ、観光の振興に関する基本的な計画(以下「基本計画」という。)を定めるものとする。

2 基本計画には、次に掲げる事項を定めるものとする。

- (1) 観光の振興に関する方針
- (2) 観光の振興に関する目標
- (3) 観光の振興に関する施策についての基本的な事項
- (4) 前3号に掲げるもののほか、観光の振興に関し必要な事項

3 知事は、基本計画を定めるに当たっては、市町、県民、観光事業者及び観光関係団体の意見を聴くものとする。

4 知事は、毎年度、基本計画の実施状況を検証し、その結果を議会に報告するとともに、公表しなければならない。

(調査及び分析)

第12条 知事は、観光の振興に関する施策を効果的に推進し、もって観光客の満足度及び再訪の意欲を高めるため、統計調査その他の必要な調査及びその分析を行うものとする。

(推進体制の整備等)

第13条 県は、観光の振興に関する施策を推進するための体制を整備するとともに、必要な財政上の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

1 この条例は、公布の日から施行する。

2 この条例の施行の際現に存する県の基本計画は、第11条1項の規定により定められた基本計画とみなす。